

未来医療GPワークショップ

# こんなときどうする？

## 患者が訴える症状へのアプローチ

### ～現場で役立つ症状への対応～

#### 目の前で、患者さんの具合が悪くなった時、 あなたは自信を持って適切な対応が取れますか？



イメージ・キャラクター  
みらいちゃん

医療者にとって最も不安の大きい場面とは、「患者の異変に出会うこと」といわれます。

その時、医療者は素早く必要な情報を集め、重症度を判断して、適切な対応を取らなければなりません。

また、医師に連絡するタイミングも今すぐに医師を呼ぶべきなのか、あるいは今日中の報告でいいのか一をその場で判断しなければなりません。

本セミナーは、医療現場で出会うことの多い「症候」に対し、ケーススタディ方式で学びます。具体的には、症例の最初の情報を提示して、その場面で医療者は何を考え、どのように情報を集め、どう動くべきか、受講者がディスカッションしながらその対応を身につけていきます。

対象は、医師以外の医療職・学生(医学生を含む)です。多くの皆様のご参加をお待ちしています。



ジェネラルT先生



## 開催案内

**日 程:** 10月12日(木)・10月16日(月)

10月18日(水)・10月25日(水)

全4回(1回だけの参加も可能です)

**対象者:** 医師以外の医療職、学生(医学生を含む)

**参加費:** 無料(定員・各回100名)

**講 師:** 前野 哲博

(筑波大学教授/附属病院総合診療グループ長/  
総合臨床教育センター部長)

**会 場:** 筑波大学医学エリア

医学学系棟(4A棟)3階 322

### 内容に関するお問合せ先

総合診療医 養成事業推進支援室

(担当:早川・横谷)

TEL: 029-853-3339

E-mail: mirai.iryoy@un.tsukuba.ac.jp

### 平成29年度プログラム(予定)

開催時間は毎回 17:30~19:00 です

- ★ 第1回:胸痛 10月12日 (木)
- ★ 第2回:動悸 10月16日 (月)
- ★ 第3回:四肢のしびれ 10月18日 (水)
- ★ 第4回:意識障害 10月25日 (水)

#### 【お申込み先】

筑波大学附属病院 看護部 (担当:馬場・山海)  
FAX: 029-853-7022

同封の申込書にご記入のうえ、FAXにて上記宛にご送信ください。

お申込み受付後、e-learning教材へのアクセスコードをお送りします(昨年度の研修の様子をご覧いただけます)。

効果的な研修のために、事前学習をしてからのご参加をお願いします。

